令和6年度

長浜市内部統制評価報告書審査意見書

長浜市監査委員

長監委第128号

令和7年8月18日

長浜市長 浅見 宣義 様

長浜市監査委員 安原 徹

長浜市監査委員 三浦 良勝

長浜市監査委員 桐山 恵行

令和6年度長浜市内部統制評価報告書の審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第150条第5項の規定に基づき、同条第4項に規定する令和6年度長浜市内部統制評価報告書について審査をしたので、次のとおり意見を提出します。

令和6年度長浜市内部統制評価報告書審査意見

第1 審査の対象

「令和6年度長浜市内部統制評価報告書」

第2 審査の着眼点

監査委員による令和6年度長浜市内部統制評価報告書の審査は、市長が作成した内部統制評価報告書について、市長による評価が評価手続に沿って適切に実施されたか、内部統制の不備について重大な不備に当たるかどうかの判断が適切に行われているかという観点から検討を行い審査した。

第3 審査の実施内容

令和6年度長浜市内部統制評価報告書について、市長及び内部統制評価部局から報告を受けた。「長浜市監査基準」に準拠し、関係帳簿及び証書類と照合し、関係職員から説明を求めるとともに、既に実施した定期監査等によって得られた知見に基づき審査を行った。

第4 審査の結果

令和6年度長浜市内部統制評価報告書について、上記のとおり審査した限りにおいて、評価手続及び評価結果に係る記載はおおむね相当であると認められた。

例月出納検査及び定期監査においては、指摘件数が前年度と比べて減少しているものの、把握されている多くの不備については、職員の認識不足、単純なケアレスミス、組織的なチェック機能の欠如により発生したものと見受けられる。特に、昨年度は市民生活に影響を及ぼす重大な不備が発生しており、内部統制が一部有効に運用されていなかったと判断されており、既に改善・是正のための措置が講じられている。

第5 今後について

内部統制制度の導入から4年目となるが、不適正事案は後を絶たない現状であり、制度が有効に機能していないように感じられる。改めて、全職員が、基本に立ち返り、事務が正しく執行できるような体制を早急に確立されたい。そのうえで、組織のチェック機能がしっかり働くよう、組織マネジメントの充実についても取り組まれたい。特に、昨年度において重大な不備の事案が発生したことを重く受け止められ、強い危機感を持って組織内でリスクや改善対策の情報共有を図るなど、より有効な対策を進められたい。

内部統制制度に沿った適切な評価をされることはもとより、より効果的な運用が図れるよう随時評価制度の見直しとともに、制度の充実に努められたい。